

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	999	課コード	1401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農地に関する証明事務		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	農業委員会事務局・農業委員会事務局			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成20年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.25人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,200千円 (うち人件費 2,200千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	農地や耕作の状況等について、農業者及びその他関係機関が必要とする証明。						
(3) 事業内容	内容	農地等の諸証明を行う。 ・農業経営の実態証明 ・届出受理済証明・許可済証明 ・相続税、贈与税の納税猶予に関する適格者証明 ・引き続き農業経営を行っている旨の証明 ・生産緑地に係る農業の主たる従事者の証明 ・農地法の規定に基づく許可を要しない土地の証明 (非農地証明) ・税務署、裁判所からの照会			当該年度執行計画	受付、審査、発行を随時行う。						
		当該年度活動結果指標	申請件数	単位	件	想定値	60	実績値	73			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	各証明等を審査、調査を行い発行する。				間接	申請、届出のあった適正な発行率	%	100	100			
令和2年度	各証明等を審査、調査を行い発行する。				間接	申請、届出のあった適正な発行率	%		100			
令和3年度	各証明等を審査、調査を行い発行する。				間接	申請、届出のあった適正な発行率	%		100			
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			農地等の諸証明の発行 1号嘱託職員 0.35人	760		農地等の諸証明の発行		21			農地等の諸証明の発行	
		予算(決算)額	合計	760	合計		0	21	合計		0	
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		742			△18	21		△18		△18		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		18	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18		
換算人数(人)		0.25			0.25	0.25		0.25		0		
正職員人件費		2,200			2,200	2,200		2,200		0		
嘱託職員報酬額		500			0	0		500		0		
臨時職員賃金額		0			0	0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,960			2,200	2,221		2,200		0		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		49.33千円/件			36.67千円/件	30.42						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	農地法制度等に対応する必要、義務がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法令による事務である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法令により、農業委員会以外では証明書の発行ができないため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 証明書の発行業務のため、市民協働にはあてはまらない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ●③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> 法令により、農業委員会以外では証明書の発行ができないため、市民との協働はできない。		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		証明書に再生紙を利用。		証明発行に再生紙を使用した。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 適正な事務執行による。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	2,200	760	<削減の内容>		2,221	100.95	<超過理由等>		
事業費削減率 (%)									
25.68									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	%	10万円			4.5	98.9			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	農家の営農に必要不可欠は証明事務であるため、引き続き事業を行う。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1000), 課コード (1401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 現状, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1001), 課コード (1401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1002	課コード	1401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農地法3条・4条・5条の許可及び4条・5条の届出		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	農業委員会事務局・農業委員会事務局	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成20年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.65人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 12,440千円 (うち人件費 5,720千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	①耕作目的の農地等の権利移動の制限(3条)、②農地を農地以外のものにする自己転用の制限(4条)、③転用目的の権利移動の制限(5条)、				
(3) 事業内容	内容	①不耕作目的での農地の取得等、望ましくない権利移動を規制し、農地が農業を主業とする者または主業としようと考えている者等の生産性の高い経営体によって利用されるよう誘導するため、権利移動の機会を捉えて土地利用の効率化を図る。 ②農地の農業上と農業以外の利用との調整を図り、優良農地を確保し、住宅・工場等の無秩序な立地による農業環境の悪化を防止し、農業上の土地利用を合理的に行う。			当該年度執行計画	①許可は毎月の21日から25日まで受付。 ②届出は毎日受付。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	件	想定値	実績値
当該年度	農地法の許可基準に基づき審査を行い、許可、不許可を決定する				間接	申請、届出のあった適正な審査執行率	%		100	100
令和2年度	農地法の許可基準に基づき審査を行い、許可、不許可を決定する				間接	申請、届出のあった適正な審査執行率	%			100
令和3年度	農地法の許可基準に基づき審査を行い、許可、不許可を決定する				間接	申請、届出のあった適正な審査執行率	%			100
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		農業委員報酬 1号嘱託職員 0.35人		6,720 760	農業委員報酬		6,720	農業委員報酬		6,720
		予算(決算)額	合計	7,480	合計	6,720	6,720	合計	6,720	6,720
		国庫支出金 補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0
県支出金 補助率 10%	748	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	0		
起債 充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	0		
一般財源		6,732		6,720	6,720		6,720	6,720		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0		
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.65	換算人数(人)	0.65	0.65	換算人数(人)	0.65	0		
	正職員人件費	5,720	正職員人件費	5,720	5,720	正職員人件費	5,720	0		
	嘱託職員報酬額	500	嘱託職員報酬額	0	0	嘱託職員報酬額	500	0		
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	0	臨時職員賃金額	0	0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	13,200	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,440	12,440	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,440	6,720		
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	110千円/件	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	103.67千円/件	116.26	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	農地法による業務および任意業務を効果的に執行することにより、農地の適正な管理が図られ、優良農地の確保ができる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法令により、定められた業務のため。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法令により、定められた業務のため、農業委員会以外では実施できない。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 法による許可、不許可の決定、届出事務のため、市民協働になじまない。		法令により、定められた業務であり、行政処分を伴うことから、市民との協働にはなじまない。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		農地の乱開発防止することにより、環境保全を図ることができる。		農地の乱開発防止し、優良な農地を確保することにより、環境保全を図った。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 適正な審査を実施。		
					89	89			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	12,440	760	<削減の内容> 農業委員会交付金(県補助金)の一部を充当。		2,440	100	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		5.76							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.8		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
					0.72	90			

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	改善策及び展開方向
法令により、定められた業務であり、農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携を図り適正な審査を遂行する。	

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード 1003 課コード 1401 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 法令で定められている機関であり、農地の保全、農業振興のため現状どおり運営する。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2116	課コード	1401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)

(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農家の婚活の支援	実施計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	②部課名	農業委員会事務局・農業委員会事務局	
	③事業主体	○市 ●その他（我孫子市農業委員会）		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市			
	⑤事業期間	平成27年度～		⑥担当職員数	2人（換算人数）	0.02人		
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	140千円	当該（開始）年度	（当初）176千円（うち人件費176千円）			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	部門別計画への位置づけ（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	生産者が意欲を持って農業経営に取り組めるよう、新品種・新品目・高品質栽培の導入などによる農産物のブランド化や加工品の開発、ネット販売や直売販売など消費者ニーズに応じた販売方法の導入、大学や商工業者、NPO等とも連携した事業の展開など、農業の付加価値を高めるためのさまざまな取り組みを支援			事業目的	農家の後継者確保への支援、これにより地域農業の振興につなげる。		
(3) 事業内容	内容	1. 農業委員会で市内農業後継者を募り、婚活イベントを実施する。これに応募してきた市内外からの興味を持った人々と農業後継者との間で、交流を通じて語らひの場を設ける。 2. 地域の実情に密着している農業委員が独自の農業後継者をまず選び、広報やポスター・チラシ、そしてインターネット（SNS）により、より広範囲に、効果的に参加者を募る。 3. イベントは基本的に、応募者により農家、農業の実情の一端を知ってもらうため、農家での農作業体験等を行う。 なお、既に「結婚相談所」を展開し、婚活事業の実績を上げている我孫子市各福祉協議会の協力を得て事業を展開していく。			当該年度執行計画	1. 婚活事業計画に検討		
		当該年度活動結果指標	検討回数	単位	回	想定値	2	
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標	単位	(5) 現況値 (6) 目標値	
当該年度	出合いの場（イベント）を設定し、農家の婚活の機会を設ける			直接	成婚もしくはおつきあいに発展した組数	組	0 1	
令和2年度	出合いの場を設定し、農家の婚活の機会を設ける。			直接	成婚もしくはおつきあいに発展した組数	組	1	
令和3年度	出合いの場を設定し、農家の婚活の機会を設ける。			直接	成婚もしくはおつきあいに発展した組数。	組	2	
(7) 事業実施上の課題と対応	課題は農業従事者との婚活イベントに参加する人の確保が難しい。特に受け入れ側の男性の参加希望者が少なく、今後事業を継続していくかを含めて検討が必要である。			代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

(8) 施行事項

政策	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
	内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
	イベント内容の検討		イベント内容の検討			イベント内容の検討		イベント内容の検討	
予算(決算)額	合計	0	合計	0	0	合計	0	合計	0

(9) 財源内訳

国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
一般財源			0		0		0		0
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0

(10) 人件費等

換算人数(人)	0.02	0.02	0.02
正職員人件費	176	176	176
嘱託職員報酬額	0	0	0
臨時職員賃金額	0	0	0
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	176	176	176

(11) 単位費用

事業費/活動結果指標

88千円/回	88千円/回	0
--------	--------	---

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価	事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	農家の後継者不足による農業の停滞を防止する。	●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> イベント内容の検討を実施。	●要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる ■③その他	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ■⑦その他 <その他の内容> 市内の農家に精通している農業委員会が主体であることが有効である。	●要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 婚活事業を行っている。る社会福祉協議会の協力を得て実施。また、就農者に嫁いだ女性が実行委員になり、参考意見を取り入れながら企画する	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 過去に婚活イベントに参加した方からの感想や、意見を取り入れたイベント内容の検討。 参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	●要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点 ○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ○⑤その他 <その他の内容>	取組む内容 手賀沼の遊覧船に乗船し、手賀沼についての学習も兼ねる。 実施した具体的な内容 該当しない。 環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (組) 0 目標値(b) (組) 1 目標値の妥当性のチェック ○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である	達成状況 実績値(f) (組) 0 達成率(%) (f/b×100) 0 <目標を達成した理由/未達成となった原因> イベント未実施のため。	●要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円) 176 事業費削減額(d) (千円) 0 事業費削減率(%) 0 実施予定の対策 ○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 ○③維持管理費の削減策の実施 ○④民間委託 ○⑤PFI等民間資本の活用 ○⑥受益者負担 ○⑦その他 <削減の内容>	実施状況 実績値(g) (千円) 176 対事業費(%) (g/c) ×100 100 <超過理由等>	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	●要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e) 0.57 単位 費用単位 組 10万円 計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	達成状況 実績値(h) 0 対目標値(%) (h/e) ×100 0 ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> イベント未実施のため。	●要 ○不要	

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント
本事業と子ども支援課の事業「我孫子市結婚相談事業の充実」は事業目的と内容が類似しており、2課で同時に実施して非効率なものとなっているため、今後本事業と婚活事業を結合し、子ども支援課で実施していく。

改善案及び展開方向
令和2年度から本事業と子ども支援課の事業「我孫子市結婚相談事業の充実」を結合し、子ども支援課で効果的・効率的に実施していく。